

少年の主張大会

村上さんが最優秀賞



発表者と関係者の皆さん

審査の結果は次のとおりです。

(敬称略)

■最優秀賞

『豊かさを作る決意』

浮金中学校1年 村上 卓哉

■優秀賞

『私の「ありがとう」探し』

浮金中学校2年 大井川 舞

『みんなちがってみんないい』

小野中学校3年 西田 詩織

『親子』

小野中学校3年 佐久間寛大

『五人目の絆への贈りもの』

浮金中学校3年 佐藤 花野

『命』 小野中学校3年 田村 美月

■努力賞

『身近な人たちへの感謝』

小野中学校1年 橋本 瑞希

『情報の大切さ』

小野中学校1年 大和田 葵

『自分からすすんで!』

小野中学校1年 草野真奈美

『働く意味』

小野中学校2年 草野 光

『友達と親友』

小野中学校2年 吉田 美波

『なぜ人は嘘をつくのか』

小野中学校2年 根本 詩帆

小野町青少年健全育成町民会議主催の少年の主張大会が7月4日、多目的研修集会施設で開かれました。この大会は、中学生が日頃考えていることや感じていることを発表することにより、社会の一員としての自覚を高めるとともに、青少年の健全育成に対する理解を深めることを目的に毎年開かれています。浮金中学校と小野中学校から各学年4人、計12人が出場し、学校や家庭、社会など身の回りのことをテーマに思い思いの意見を発表しました。

「サマーキャンプ中学生の翼」結団式

海外研修へ向けて決意表明

中学生海外派遣事業「サマーキャンプ中学生の翼」の結団式が7月6日、勤労青少年ホームで行われました。

この事業は、国際化に対応する人材の育成を目的として、町内中学生を対象にアメリカへの派遣研修を行っているもので、今回で19回目を迎えます。

結団式では、14人の団員一人一人から抱負が述べられた後、リーダーの先崎智仁さんと会田淑映さんがアメリカ研修に当たった決意表明をしました。

団員は、7月27日から8月5日までの10日間、アメリカ合衆国ニュージャージー州グレンロック町でのホームステイとニューヨーク州ハンコック町でのキャンプ活動を行いました。



団員と関係者の皆さん

「石塚幼児文庫」贈呈式

石塚医院が英語の絵本を寄贈



寄贈に訪れた石塚院長(右から2番目)と石塚プランナー(右)

「石塚幼児文庫」の贈呈式が7月20日、町長室で行われました。

これは、石塚医院(石塚尋朗院長)から「一日一日と成長していく子どもたちにとって、食事から取る栄養も大切ですが、もう一つ、この時期の子どもたちに特に重要な心の栄養という面を考え、豊かな心を持った子どもたちの育成を目指してほしい」と、毎年町内全幼児施設に絵本を寄贈していただいているものです。

今年度は「将来、広い世界で活躍してほしい」との願いから、73冊の英語の絵本をいただきました。園児たちは、絵本の読み聞かせの時間をとても楽しみにしており、また自ら絵本を選ぶ楽しさも味わっているようです。

このたびのご厚意に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。